

## 研究課題名 胃癌検診におけるAI(artificial intelligence)を用いた非リアルタイム2次読影支援機能の開発

本研究は、ちば県民保健予防財団倫理審査委員会の承認を得て、理事長の許可のもと行われる研究です。まず、過去（2005年～2018年3月の期間）に千葉大学医学部附属病院にて治療した胃癌画像を用いて、千葉大学医学部および千葉大学の共同研究機関（オリンパス株式会社、エルピクセル株式会社）にて胃癌の教師データを作成します。上記の教師データを作成するためのすべての症例の画像は個人情報情報を全て除いた後に使用します。

次に上記の千葉大学医学部で作成されたシステム（AI診断システム）を用いて新規胃癌症例（2018年4月～2018年12月の期間に千葉大学医学部附属病院にて治療した、または治療を行う症例）での診断能の検証と、深層学習（Deep learning）を行います。その後、2019年1月から2020年3月までに千葉大学医学部附属病院とちば県民保健予防財団にて、胃癌検診・スクリーニング目的に内視鏡検査を受ける方を対象として、本システムの有用性の検証を行います。

この研究により、胃癌検診にこのAI診断システムが導入できれば、現在も罹患率が高い胃癌の早期発見をより可能にし、これをもって癌死亡率の減少に寄与すると考えられます。

研究期間は、本研究許可日から2022年度にかけデータを収集し、2023年3月31日までの予定です。

本研究における個人情報等の扱いは以下のとおりです。

1. 本研究は画像データのみを利用する研究であり、本研究のために新たに人体試料の採取は行いません。
2. 受診者の皆さまの個人情報を削除した上でデータを利用します。
3. 研究の成果は学会や学術雑誌等で公表する予定ですが、個人が特定できる情報を公表することはありません。
4. 本研究の主任研究者及び分担研究者は、本研究に関する利益相反はありません。

本研究にご自身のデータが利用されることについてご同意いただけない場合やご不明な点につきましては、お問い合わせ下さい。

### 研究責任者

主任調査研究責任者	所属：千葉大学医学部附属病院 消化器内科 職名：助教 氏名：松村倫明
分担調査研究責任者	所属：ちば県民保健予防財団 診療部診療科 職名：部長 氏名：山口和也